

作谷沢の近未来を構想する「住民参加ワークショップ」開催計画書

テーマ：「作谷沢が生き生きとした地域になるために・・・」

●事前の情報（プランナーと実行委員の仕事）

- ・ 題材となるのは山辺町作谷沢（やまのべまちさくやざわ）
- ・ 作谷沢の現状と課題の診断
- ・ 地域が課題解決のために取り組んできた対応策（行動）を知る
- ・ 作谷沢の地域資源とその現状を知る
- ・ 取組みのプロセスとその成果について検証する

●作谷沢の現状と課題を知り地域振興の有り方を考えまとめる

☆ 月 日（ ）・・・・・・ワークショップ1回目（昼食をはさんで1日）

- ・ 参加者を特色で分け、グループ（班）をつくる
- ・ 班ごとに地域内を散策して現地調査を実施
※参加者各々の視点で気づいたことをまとめる
- ・ 昼食
- ・ 班ごとに調査結果を分類する
※「①強いこと」、「②弱いこと」、「③使えるもの」、「④不安なこと」

☆ 月 日（ ）・・・・・・ワークショップ2回目（午前か午後の半日）

- ・ 各班による地域課題解決につなぐための提案合戦
※「①強いこと」 ⇒ 「①'もっと伸ばす提案」
※「②弱いこと」 ⇒ 「②'強みに変える提案」
※「③使えるもの」 ⇒ 「③'お金に変える提案」
※「④不安なこと」 ⇒ 「④'不安をなくす提案」
- ・ 上記の前向きな提案を次の6つの項目に分類
※「①"自然や景観を活かす提案」
※「②"歴史や文化を活かす提案」
※「③"技や人を育て活かす提案」
※「④"地域の資源を活かす提案」
※「⑤"移住定住を推進する提案」
※「⑥"作谷沢を元気にする提案」
- ・ 提案実現に向けたアクションプログラムの作成
※「①何を」、「②いつ」、「③誰が」、「④何することで」、「⑤どうなるのか」

☆2回のワークショップで得た成果を使って「行動計画書」を作成（実行委員）

☆ 月 日 () ワークショップ3回目

- 2回のワークショップでまとめた成果を住民の皆さんに発表
 - ※取り組みの経過報告
 - ※質疑応答
 - ※意見交換
 - ※情報交流会

●**取り組みに求める成果**

- 多くの住民が同じ方向性を持つ「地域の将来像」が見える化
- 各々の団体組織が果たす役割と活動の位置づけを明確化
- 地域計画づくりに若者や女性が参画したという実感が持てる内容
- 作谷沢の人口減少と後継者問題をどのように解決するかも検討
- 地域資源を活用した生業の創出につなぐ
- 住民が作谷沢に住み続ける覚悟・自信・誇りにつながる形
- 数年後の活動検証と見直しに使い勝手の良いまとめ

作谷沢地区WS開催打合せ資料

～住民主体で作谷沢の近未来を構想する～

1. “作谷沢”のすがた（事前に準備）
 - ・ 作谷沢の資源目録
 - ・ 作谷沢の地域づくり変遷

既存資料の活用
足りない分を補足
 2. 数字で診る“作谷沢”（報告会まで作成）
 - ・ 作谷沢の今昔を数字で見よう
 - ・ 将来の作谷沢を予測しよう

まとめは●●で
町の統計資料も拝借
 3. 作谷沢の現状をまとめよう
 - ・ 現地調査（みんなの視点で確かめよう）
 - ・ 今を写真に撮ろう（点検作業）
 - ・ みんなでつくる点検図

第1回目
（朝から夕方まで）
作谷沢住民の参加
 4. 地区の真の課題の拾い出し
 - ・ 作谷沢の強弱不安特徴を揃える
 5. 弱さを強みに変えよう（視点を変えて考える）
 - ・ 明るい未来の提案合戦

第2回目
（日中の半日）
作谷沢住民の参加
 6. これからの作谷沢に必要なこと
 - ・ 作谷沢に住み続けるために
 - ・ 誇りを持てる作谷沢の実現に向けて
 - ・ そのために何が必要なのか
 7. 作谷沢の寶大図鑑づくり
 - ・ 作谷沢10枚の絵はがきづくり
 - ・ 作谷沢の自慢を持ち寄ろう
 - ・ 作谷沢住民大集合

第3回目
（●●での発表会）
地域住民の参加
 8. まとめ
- まとめの作業
報告会の開催

★開催に向けた段取り (実行委員で調整してください。)

①スタッフの選出 (実行部隊)

どんな役割なのか？心配ですよ？

- ・ 開催の日程調整や参加者を確実に集める役目
- ・ 第1回目の現場点検で現地の案内役
- ・ 会場の準備

疑問1： 役員は何人必要なのか？

答え1： 6～8人くらいお願いします。(作業はその都度お願いします)
一人代表を決めてください。(開催時の挨拶をお願いします)
会が始まれば一般参加者になってもらって結構です。

②司会と進行

司会は実行委員で担当してください。

WSのプログラムづくりや進行役は高橋が担います。

③参加者を決める

地区の参加者を決めます。(希望？一本釣り？義務？)

よそ者の視点として、誰か入れたい人はいますか？

疑問2： 地元から何人必要なのか？

答え2： 出来るだけたくさん集まって欲しい。年齢性別は気にしません。
小学生の参加も大丈夫です。他に出て行った人も大歓迎です。

疑問3： 全回通して参加しないと無理か？

答え3： みんな途中で帰られると困るが、2回目から参加しても
十分理解できるし、楽しめる仕掛けを準備します。
参加者の班分けは事前に決定し、当日修正します。

④その他

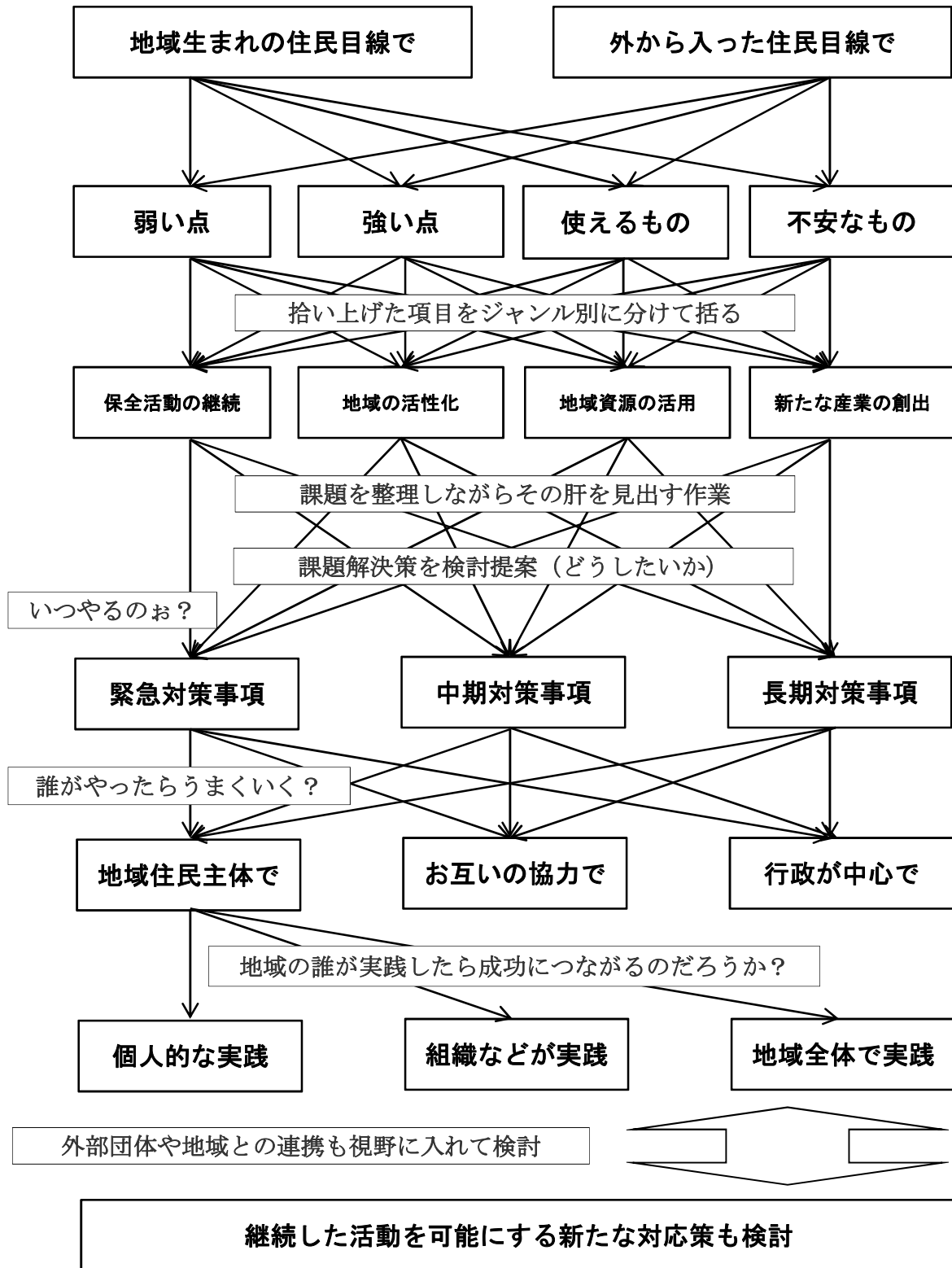
最終的には“作谷沢●●●”という形で行動計画書にまとめます。

成果は地域全体のものとするため、完成時に報告会を開催します。

※誰でも楽しく参加できる保証付きです。

@nobu.

作谷沢WSスコア



《作谷沢》の現地気づきカルテ

[ジャンル] : 自然や風景 農業や産業 暮らし 女性若者 歴史や行事 その他

地区名		集落名		図番	
名称		区分	・強み ・弱み ・使えるもの ・不安なこと		
《現場の状況》					
《地元の解説》					

[ジャンル] : 自然や風景 農業や産業 暮らし 女性若者 歴史や行事 その他

地区名		集落名		図番	
名称		区分	・強み ・弱み ・使えるもの ・不安なこと		
《現場の状況》					
《地元の解説》					

[ジャンル] : 自然や風景 農業や産業 暮らし 女性若者 歴史や行事 その他

地区名		集落名		図番	
名称		区分	・強み ・弱み ・使えるもの ・不安なこと		
《現場の状況》					
《地元の解説》					

[ジャンル] : 自然や風景 農業や産業 暮らし 女性若者 歴史や行事 その他

地区名		集落名		図番	
名称		区分	・強み ・弱み ・使えるもの ・不安なこと		
《現場の状況》					
《地元の解説》					

作谷沢を元気にするための提案（提案のヒント）

～ちょっと先の作谷沢の暮らしについて考えてみましょう～

元気な作谷沢づくりに向けて

1. 課題克服のための提案







- 弱みを強みに変えるための提案
- 強みを伸ばす提案
- 資源をお金に換える提案
- 不安を払拭する提案

2. 提案のキーワード

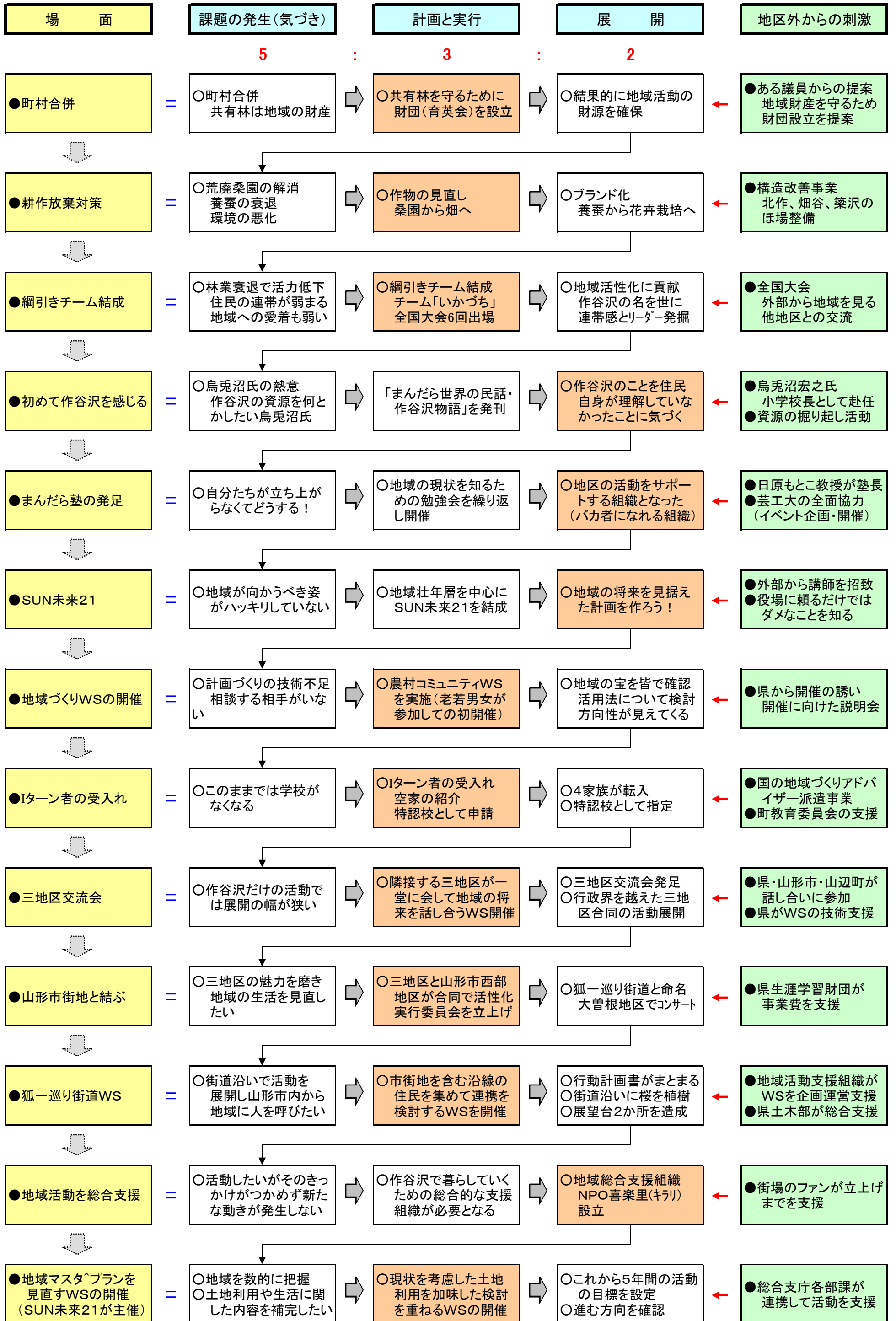
- 作谷沢の農業全体のあり方
- 田畑のゾーニングの工夫
- 耕作放棄地の再生と活用
- これからの共同作業のあり方
- 農業機械の共同化
- 農家以外の労働力の活用
- 後継者不足への対応策
- 作谷沢に合った法人像
- 新規就農を進めるための方法
- 作谷沢に適した作物の選定
- 6次産業化の取組み
- 低コスト化農業
- 耕畜連携した取組み
- 景観作物の導入
- 農業体験の取組み
- オーナー制の取組み
- 産直、通販、CSAの取組み
- 市民農園の取組み
- 中山間直接支払制度等の活用
- 事務機能の一本化

…などなど

テーマごとの着色表示凡例

項目	表示	内容
自然や風景を活かす提案		眺め、山、川、木、沼、湧水、風穴、いきもの、雪などを活用する提案
歴史や文化を活かす提案		まんだらの里、伝説、伝統料理、史跡、神社仏閣などの活用
技や人を育て活かす提案		新規就農、後継者育成、法人化、農地管理組合、ものづくり など
地域の資源を活かす提案		湧水、わさび、四季、花、自然、人、山菜、野獣、耕作放棄地 など
移住定住を推進する提案		空き家の活用、農業、耕作放棄地、働く場所、育児、近所づきあい など
作谷沢を元気にする提案		林や農地のオーナー制、イベント開催、産直、通販、レストランの開設 など

作谷沢の発展経緯と外部支援の整理表



活き生き作谷沢実現に向けた提案整理表

平成30年9月18日時点の計画

重要度	項目	着手時期			役割分担・主体						実践のポイントなど	計画反映	想定される連携先など	
		すぐ	2~4年	5年~	個々の住民	組織や団体	地域ぐるみ	組織間連携	地域間連携	行政と連携				行政
	[自然や景観を活かす提案]													
	[歴史や文化を活かす提案]													
	[技や人を育て活かす提案]													
	[地域の資源を活かす提案]													
	[移住定住を推進する提案]													
	[作谷沢を元気にする提案]													